

11

2011 NOVEMBER

広報

# なみえ

- 2 町民の皆さまへ
- 3 情報ぴっくあつぷ
- 6 22年度決算
- 8 選挙のお知らせ
- 10 まちの話題
- 12 浪江のこころ通信
- 22 連絡先一覧・空間放射線量測定結果

鮭やな場に咲く  
町の花 “コスモス”  
(10月18日撮影)

Proud!  
Japan

# 浪江町合同慰霊祭を終えて

浪江町長 馬 場 有

お元気ですか。今、故郷浪江町は鮭が遡上し、川  
いっばいに銀鱗おどり、山の木々の葉は、紅に染ま  
り秋たけなわの季節を迎えておると存じます。難儀  
な避難生活も8カ月を超えました。何とぞ、強い心  
をもつて周囲の方々に支えていただいていることに  
感謝し、「和の精神をもつてお互いに協調・尊重し  
あう気持ちで新しい生活スタイル」をそれぞれ模索  
しましょう。

さて、10月16日には、町の合同慰霊祭を開催し、  
ご遺族の皆さまのご参列をいただき、犠牲となられ  
ました方々に謹んで哀悼の誠を捧げました。遺族代  
表として別れの言葉を述べられた長沼利紗子さんの  
「それでも海は大好き」は、参列者の涙をさそい、  
深い悲しみと無念さが伝わりました。あらためて御  
霊に対し町民一丸となって強い絆を守り、新しい浪

江町を再生・創建することをお誓い申しあげ、御霊  
が安らかに眠りいただくよう「慰霊の塔」を建立  
したいと存じます。

また、町を復旧・復興させる目的で「浪江町復興  
検討委員会」を町民、有識者、国・県・町職員で組  
織し、私たちのふるさとが震災以前の日々の暮らし  
と生業ができるよう、前に踏み出したいと思いを  
皆さま方には、町民アンケート、各種懇談会を通  
し、忌憚ないご意見・ご提案・ご要請をお聞かせい  
たきますので、よろしく願います。

結びに、朝夕めっきり冷え込む時期になりました。  
皆さまには十分に体調管理に留意され、御健勝であ  
りますようお願い申し上げます。メッセージとし  
ます。

**情報**

問合せ  
申込み  
電話  
FAX  
Eメール  
ホームページ  
フリーダイヤル

**報**

ぴっくあっぷ

## 県外で民間賃貸住宅の家賃等を負担されていた皆さまへ

県外における民間賃貸住宅に係る家賃等の返還(遡及措置)に関しては、これまで検討中と案内してきましたが、原発事故に伴う避難等指示対象者の皆さまは、原子力損害賠償制度による賠償対象となっております。これまで自ら負担した家賃等については、東京電力へ請求してください。

**■原子力損害賠償に関する問い合わせ**  
東京電力(株)福島原子力賠償相談室  
TEL 0120-926-404  
※すでに請求書を提出された方も追加請求ができますので、

東京電力の相談窓口にお問い合わせください。  
**■福島県災害対策本部活動支援班 県外避難者支援チーム**  
TEL 024-523-4157

**■農業委員選挙**  
延期されていた農業委員の選挙は、平成24年7月8日に実施される予定です。  
**■浪江町農業委員会**  
TEL 0243-62-0123

## 福島労働局からのお知らせ

社員、パートなどの従業員の方が、仕事上または通勤途中で地震・津波に遭遇し、けがまたは亡くなられた場合、けがをされた方またはご遺族は、労災保険からの給付を受けることができます。詳しくは、お近くの労働基準監督署または福島労働局にご相談ください。

**■福島労働基準監督署**  
TEL 024-536-4613  
**■福島労働局**  
TEL 024-536-4605  
**■JAふたば 方部別座談会**  
JAふたばでは、延期してい

方部	日時	場所
会津	11月9日(水) 10:00~	会津稽古堂 (会津若松市栄町3番50号)
郡山	11月10日(木) 13:30~	ホテル ハマツ (郡山市虎丸町3-18)
いわき	11月11日(金) 13:30~	いわき ゆつたり館 (いわき市常磐湯本町上浅見22-1)
福島	11月14日(月) 13:30~	パルセイいざか (福島市飯坂町築前27-1)

た第13回通常総代会を開催することとしました。次の県内4カ所で方部座談会を開催します。

**■税務課からのお知らせ**  
平成23年度(平成22年分)所得証明書、課税証明書の発行ができるようになりました。窓口または郵送で申請手続きをすることが出来ます。郵送による申請方法は、お問い合わせください。  
**■町民窓口班(税務)**  
TEL 0243-62-0123

## 第23回ふくしま駅伝

ふくしま駅伝は、白河総合運動公園陸上競技場を7時40分にスタートし、県庁までの16区間96.5kmをコースに繰り広げられます。皆さまの応援よろしくお祈りします。

日時 11月20日(日)

——\*浪江町選手団\*敬称略\*——

**■監督** 佐藤 博文  
**■コーチ** 吉田 信一・末永 将人  
**■選手** 脇坂 忠宏・谷田 武美・佐藤 晋  
佐々木 憲幸・吉田 尚史・鈴木 健人  
吉田 龍司・柴口 大・松枝 勇希  
蜂須賀 康太・伴場 真・佐藤 駿  
山田 修也・青木 拓也・横山 恵太  
今野 和磨・松村 省吾・只野 将樹  
小野田 恵典・木村 郁也・武藤 琢郎  
佐藤 宏紀・岡 裕美・畠山 侑希  
中島 七虹・今野 ひかり・脇坂 優香  
根岸 奈々・大友 春佳・熊谷 磨美  
松本 蘭樹

## 総合健康診査・婦人がん検診

健康診査希望意向調査で検診を希望された方に、検診の通知をしました。  
福島県内は、集団健診および施設検診(婦人がん)、県外は施設検診で実施します。詳しい内容は、検診案内通知をご覧ください。

**<実施する健診>**

- 特定健康診査および健康診査 (身体測定・尿検査・血液検査・心電図検査・眼底検査等)
- 胃がん健診 (バリウムによる胃の透視)
- 大腸がん検診 (便潜血検査2日間)
- 前立腺がん検診 (PSA値)
- 結核および肺がん検診 (胸部X線間接撮影)
- 婦人がん検診
  - 乳がん検診 (マンモグラフィー検査・触診)
  - 子宮頸がん検診

**■健康保険班健康係** TEL 0243-62-0123

### 転出された方と浪江町との関係維持のために

10月臨時議会において「浪江町特定住所移転者に係る申出に関する条例」が制定されました。この条例は、原発事故による避難のため、浪江町から他市区町村へ住民票を移した方と浪江町との関係維持のために、避難者からの申し出で次の措置をできるようにしたものです。

- ① 浪江町・福島県に関する情報提供
- ② 転出者と浪江町民との交流事業の推進
- ③ 転出者と浪江町との関係維持の施策推進

なお、この措置を受けるために必要な申出書や住所等変更届は、町ホームページからダウンロードできます。

☎ 総務課 0243-62-0123

### 原発補償金説明会

福島第一原発事故で避難等対象区域から避難している司法書士が、同じ被災者の立場で補償金請求書に記載する際の注意点や問題を事例を交えて説明します。(入場無料・予約不要)

※東京電力への補償金請求書、合意書等をお持ちください。「生活再建相談会」を同時開催します。(相談無料) 借金の支払いや二重ローン問題にお悩みの方などお気軽にご相談ください。

▽日程

会場	日時	場所
福島会場	11月6日(日) 10:00~15:00	福島テルサ (福島市上町4-25)
白河会場	11月6日(日) 10:00~15:00	白河地域職業訓練センター (白河市中田140)
南相馬会場	11月12日(土) 10:00~15:00	南相馬労働福祉会館 (南相馬市原町区北町537)
会津若松会場	11月12日(土) 9:30~12:00	会津若松市生涯学習総合センター 会津稲古堂(会津若松市栄町3番50号)
郡山会場	11月13日(日) 10:00~15:00	郡山市大槻公民館 (郡山市大槻町字中前田56-1)
いわき会場	11月13日(日) 10:00~15:00	いわき市労働福祉会館 (いわき市平字堂ノ前22)

☎ 福島県青年司法書士協議会事務局 (あすなろ司法事務所) 0246-24-3361

### 浪江自家用自動車組合からのお知らせ

浪江自家用自動車組合、東北自動車共済浪江支所へのお問い合わせはこちらまで。

☎ 090-5189-8784(山下) 090-7934-4262(阿部)

### 就職でお困りのことはありませんか

ふるさとふくしま巡回就職相談ステーションでは、これから仕事をしたい方、新たに職業を探している方の相談に応じています。自分に合った仕事がない、仕事の情報が得られない、履歴書の書き方がわからないなど就職に関する困りごとがあればご連絡ください。

☎ ふるさとふくしま巡回就職相談ステーション

- (※福島県委託事業) 月々土曜日 10時~19時
- ステーション福島 福島市丸字町頭17-6 (福島商業高校そば)
- ステーション郡山 郡山市菜根5-11-3 (郡山商業高校そば)

☎ 024-925-0811

### 出張所開設

11月1日(火) からいわき出張所を開設します。出張所では、住民票や所得証明の発行などの業務を行います。

■いわき出張所  
いわき市平字堂根町1番地の4 (いわき市文化センター2階第4会議室)  
☎ 0246-24-0020 ☎ 0246-24-0026

### 線量計の貸し出し

町では、700個の線量計を準備し、11月1日から貸し出しを開始します。(いわき出張所は、11月7日貸し出し開始)   
▷対象者 浪江町に住所を有する方   
▷貸し出し数量・期間 1世帯1個 5日間   
▷受付(貸し出し場所)   
●浪江町役場二本松事務所 毎日 9時~17時   
●各出張所 月~金曜日 9時~17時 (祝日の貸し出しは不可。)

※12月29日~1月3日の貸し出しはできません。   
▷持参品 身分を証明できるもの(運転免許証、保険証、被災・罹災証明書など公的な書類)   
▷その他   
①受け渡しは、お申し込み順です。電話予約はできません。   
②線量計は、精密な電子機器で衝撃や水に弱いので、取扱いは十分注意してください。   
③機器を紛失・破損した場合、または理由なく返却がない場合は、実費を弁償していただきます。   
④本体の充電にかかる電気代は、申請者の負担とします。   
⑤線量計のことで不明な点がある方は、災害救援班(放射線管理)にお問い合わせください。

☎ 浪江町役場二本松事務所 ☎ 0243-62-0123   
☎ 災害救援班(放射線管理) ☎ 090-3971-0492

### つながる ところ

町民の皆さまから寄せられたメッセージをご紹介します。

#### 半年ぶりの再会で涙あり、笑いあり

9月13日、岳温泉で大堀清流会17名が集まりました。それぞれが会うたびに抱き合い涙。お互いの無事を確認し、話が尽きず、歌や踊りにと盛大でした。来年、桜の花が咲くころに再会を約束して解散しました。 陶 富治さん・大塚 郡山市)

#### 皆さまからのメッセージお待ちしております。

はがきなどに①メッセージ(100字以内)②氏名(本名を載せたくない方はその旨と、ペンネームなどを併せて記入。)③年齢④浪江町の住所⑤避難先住所を明記の上、郵送してください。

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1(福島県男女共生センター内) 浪江町役場二本松事務所「広報なみえメッセージ係」 ※お寄せいただいたメッセージは、必ず紹介されるわけではありません。 ☎ 行政運営班 ☎ 0243-62-0123

### ゲートボール交流大会

会員相互の交流と健康増進を図るため、浪江町ゲートボール協会主催によるゲートボール交流大会を開催します。   
▽開催日 11月27日(日)   
▽時間 開会式 9時 試合開始 9時30分   
▽開催場所 二本松屋内ゲートボール場

▽対象者 (城跡北部第二体育館隣) 浪江町ゲートボール会員

▽参加費 無料 (昼食は協会で準備します)

▽申し込み方法 はがきに住所、氏名、ステイックの有無を記入の上、お申し込みください。

▽申し込み先 浪江町ゲートボール協会長 愛澤 崇

〒964-0881 二本松市藤之前66-4

☎ 090-8256-5809

▽申込締め切り 11月20日(日)

☎ 浪江町ゲートボール協会事務局 石井弘美

☎ 080-2827-2106

### 仮設住宅進捗状況 (10月18日現在)

仮設住宅の進捗状況をお知らせします。

市町村	名称	建設完了戸数	入居決定戸数	残戸数
桑折町	桑折駅前	286	211	75
	桑折町計	286	211	75
二本松市	郭内公園	100	98	2
	塩沢農村広場	98	84	14
	岳下住民センター	64	60	4
	旧平石小学校	82	64	18
	安達運動場	244	231	13
	建設技術学院跡	30	25	5
	杉田住民センター	33	32	1
	杉内多目的運動広場	234	137	97
	杉田農村広場	64	56	8
	大平農村広場	66	64	2
永田農村広場	54	33	21	
二本松市計		1,069	884	185
福島市	笹谷東部	182	159	23
	南矢野目	208	176	32
	北幹線第一	196	169	27
	森合町	18	14	4
	しのぶ台	112	43	69
	宮代地区	176	47	129
	佐原地区	32	28	4
	福島市計	924	636	288
本宮市	石神第一(しらさわグリーンパーク駐車場)	57	28	29
	石神第二(しらさわグリーンパークサッカー場)	80	22	58
	栗木平(カルチャーセンター駐車場)	27	17	10
	小田部(白沢総合支所)	42	31	11
	和田石上(白沢老人福祉センター)	18	12	6
	高木(本宮運動公園みんなの原っぱ)	114	46	68
	恵向(恵向公園)	137	137	0
本宮市計	475	293	182	
相馬市	大野台第8	93	93	0
	相馬市計	93	93	0
合計		2,847	2,117	730

☎ 住宅支援班 ☎ 0243-62-0123

### B-1グランプリ in HIMEJI

11月12日(土)・13日(日) 9:30~15:30

兵庫県姫路市 姫路城周辺にて開催

浪江焼麺太国「なみえ焼そば」も出場します。 皆さまの応援、よろしくお願ひします。

#### 診療時間

☎ 080-5949-7270 (二本松市油井字長谷堂230番地 安達運動場内)   
☎ 浪江町仮設診療所   
午後 13:30~16:12   
午前 8:30~16:12   
00:00

11月												月日	担当医師							
30日(水)	29日(火)	28日(月)	25日(金)	24日(木)	22日(火)	21日(月)	18日(金)	17日(木)	16日(水)	15日(火)	14日(月)	11日(金)		10日(木)	9日(水)	8日(火)	7日(月)	4日(金)	2日(水)	1日(火)
関根			関根	関根	関根	関根	関根	関根	関根											
西	佐藤	佐藤	佐藤	玉井	今村	佐藤	佐藤	玉井	今村	西	佐藤	佐藤	玉井	西	佐藤	佐藤	玉井	西	佐藤	佐藤
手塚			手塚	手塚	手塚	手塚	手塚	手塚	手塚											

### 仮設診療所担当医師 予定表 (11月)

# 平成22年度 浪江町歳入歳出決算 審査意見書 (抜粋)

## 1 審査の対象

一般会計歳入歳出決算書、文化及びスポーツ振興育成事業特別会計歳入歳出決算書ほか9特別会計、水道事業会計決算

## 2 審査の期間

平成23年8月23日から26日、9月5日

## 3 審査の方法

審査に付された決算書等に基づき、各課により整理された関係書類の提出、閲覧を求めるとともに、必要に応じて関係職員の説明を聴取し、例月出納検査結果も参考として計数の確認照合を行い、かつ予算の執行状況について審査を行った。

## 4 審査の結果

一般会計をはじめ特別会計、水道事業会計の審査に付された決算書等による決算は、関係法令に準拠して作成され、掲げられている計数は、関係書類といずれも符合し正確なことが認められた。

平成22年度の決算は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により町自体が被災し、年度末から出納整理期間、決算の調整時期においても災害対応に追われ困難を極める中作成され、歳入予算に対する出納の実績、歳出予算の執行およびその成果は、震災の影響を大きく受けた計数となった。

# 特別会計

会計名	歳入決算	歳出決算	差引残額
文化及びスポーツ振興育成事業	228万9千円	197万9千円	31万円
国民健康保険事業	24億932万5千円	23億2,614万1千円	8,318万4千円
国民健康保険直営診療施設事業	1億1,711万5千円	1億1,461万4千円	250万1千円
老人保健	201万9千円	200万8千円	1万1千円
公共下水道事業	6億974万5千円	5億5,434万5千円	5,540万円
工業団地造成事業	603万9千円	0円	603万9千円
農業集落排水事業	5,480万5千円	4,350万1千円	1,130万4千円
介護保険事業	15億1,431万2千円	14億6,472万8千円	4,958万4千円
後期高齢者医療	1億6,987万1千円	1億6,892万8千円	94万3千円
財産区管理事業	624万9千円	17万9千円	607万円

上水道	収益的収入		収益的支出	
	3億5,952万8千円		2億9,342万9千円	
	資本的収入		資本的支出	
2,608万9千円		1億8,747万6千円		

# 翌年度以降財政負担額

## ①地方債

会計名	H21末残高	H22借入額	H22償還額	H22末残高
一般会計	60億8,303万5千円	4億9,169万1千円	4億8,504万2千円	60億8,968万4千円
公共下水道	43億1,464万6千円	1億410万円	2億3,493万円	41億8,381万6千円
農業集落排水	2億4,245万5千円	0円	1,317万4千円	2億2,928万1千円
上水道	13億9,453万6千円	0円	7,462万4千円	13億1,991万2千円
計	120億3,467万2千円	5億9,579万1千円	8億777万円	118億2,269万3千円

## ②債務負担行為残高

H22以降支出予定額	H22増減額	H23以降支出予定額
11億8,008万7千円	△2億5,676万5千円	9億2,332万2千円

# 財政健全化判断比率および公営企業資金不足比率

	H22	H21	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	16.5	18.9	25.0	35.0
将来負担比率	93.2	103.2	350.0	

\*実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率については、いずれの会計においても算出されませんでした。

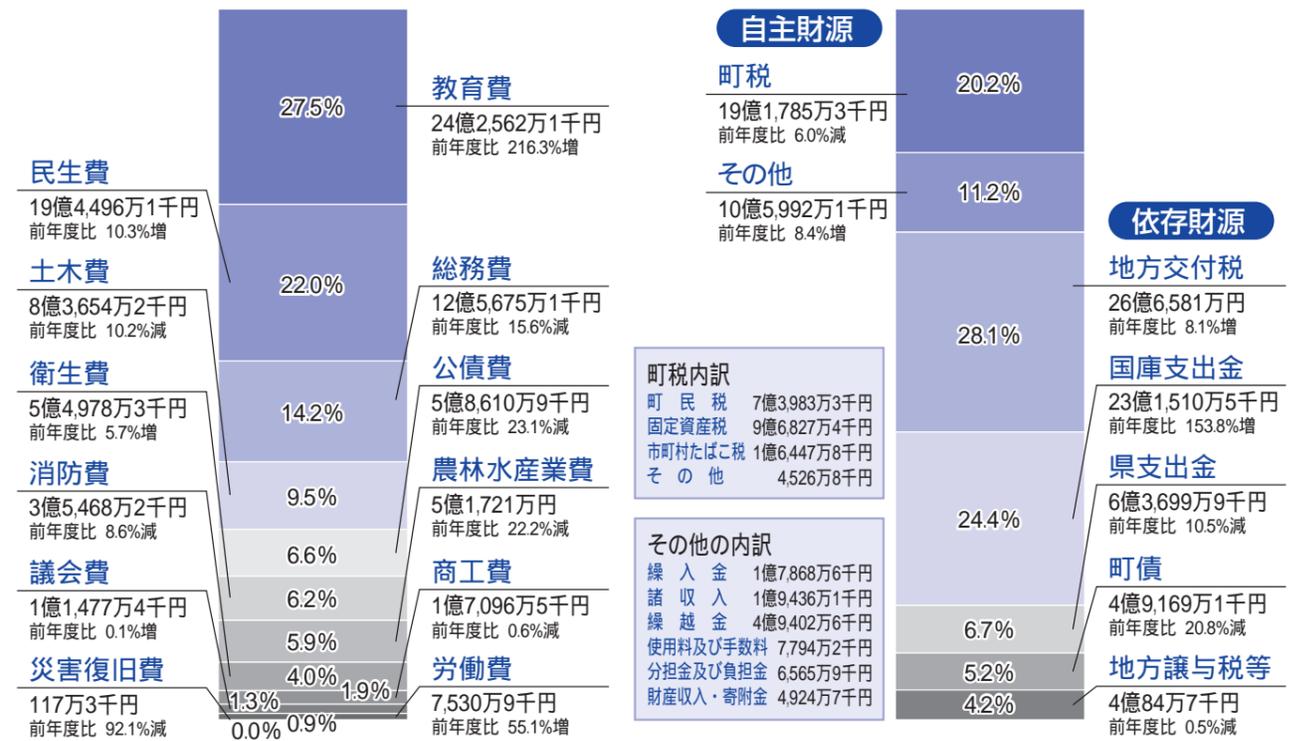
# 平成22年度 決算

平成22年度の決算は、東日本大震災が発生した3月11日以降、原発事故等による全町避難に伴う災害救助事務に従事し、多くの事業が未了となり、町有財産の被害状況も把握できない状況です。  
このように前年とは異なる中での決算となりましたが、その概要をお知らせいたします。

☎総務課財政管財係 ☎0243-62-0123

歳出 88億3,388万円  
(前年比 15.7%増)

歳入 94億8,822万6千円  
(前年比 16.7%増)



# 平成23年度上半期予算執行状況

平成23年度の上半期予算執行状況をお知らせします。

## 平成23年度上半期予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	85億4,714万4千円	57億7,527万7千円	33億72万1千円
文化及びスポーツ振興育成事業	138万4千円	31万3千円	18万円
国民健康保険事業	30億8,447万9千円	14億2,318万9千円	11億878万1千円
国民健康保険直営診療施設事業	1億3,438万1千円	6,065万5千円	4,828万2千円
公共下水道事業	3億7,409万3千円	2億1,689万5千円	1億8,650万9千円
工業団地造成事業	600万円	603万9千円	0円
農業集落排水事業	3,323万1千円	2,752万6千円	1,640万5千円
介護保険事業	19億91万8千円	6億4,821万9千円	4億9,895万3千円
後期高齢者医療	6,266万7千円	1,683万7千円	4千円
財産区管理事業	557万2千円	606万9千円	7万1千円

うち災害救助費 10億3,057万円

上水道	予算総額	収支済額
収益的	収入 82万円	98万5千円
	支出 2億271万7千円	3,461万4千円
資本的	収入 0円	0円
	支出 7,892万2千円	2,504万9千円

# 主な事業

総務費	地域情報通信基盤整備事業 (うち繰越額)	5億5,367万4千円 (5億2,472万7千円)	商工費	マリンパークなみえ運営事業 (うち繰越額)	4,676万円 (210万2千円)
	携帯電話基地局整備事業 (うち繰越額)	7,507万5千円 (6,693万円)		観光PR・イベント事業	2,066万3千円
	住民協働事業	195万6千円		e-まちタクシーぐるりんこ運行事業	1,290万円
民生費	災害救助事業 (うち繰越額)	7,516万2千円 (3,000万円)	土木費	町営住宅建設事業	1億2,134万1千円
	子ども手当	3億6,970万8千円		道路新設改良事業 (うち繰越額)	1億1,195万1千円 (1,010万4千円)
	保育所・児童館運営事業	2億3,142万2千円		高速道推進事業 (うち繰越額)	5,984万5千円 (715万8千円)
衛生費	障がい者自立支援給付事業	1億8,758万8千円	消防費	非常備消防事業	4,472万4千円
	特定健診等健診事業	2,724万3千円		消防施設整備事業 (うち繰越額)	2,479万1千円 (150万2千円)
	予防接種等予防事業	1,982万8千円		教育費	地域スポーツセンター建設事業 (うち繰越額)
妊婦健診事業	1,344万円	小中学校太陽光発電整備事業	1億9,515万4千円		
緊急雇用対策事業	5,378万9千円	中学校屋体耐震補強事業	6,102万6千円		
労働費	請戸川水系水利事業	2億5,620万6千円	農林水産業費	中山間地域等直接支払事業	3,917万9千円
	土地改良・基盤整備事業 (うち繰越額)	3,499万5千円 (900万3千円)			

# 11月20日(日) 福島県議会議員一般選挙および 浪江町長選挙の投票日です

この選挙は、私たちの意見や要望を県政や町政に反映させるための代表者を選ぶ大切な選挙です。  
自分の意志と主張で、私たちの代表に最もふさわしい方を選びましょう。

浪江町選挙管理委員会  
0243-62-0304

## 投票できる方

次のすべての要件に該当する方が投票できます。

- ① 年齢満20歳以上の日本国民（平成3年11月21日までに生まれた方）
- ② 町外からの転入者の場合、平成23年8月9日までに浪江町に転入届を出している方
- ③ 浪江町の選挙人名簿に登録されている方

ただし、県議会議員一般選挙の場合は、福島県内の他の市町村に転出した方（異動は1回に限る）で他の市町村の選挙人名簿に登録されていない方は、浪江町が設置する投票所で投票することができます。

この場合は、全国いずれかの市区町村が発行する「引き続き県内に住所を有する旨の証明書（無料）」または新住所地の市町村が発行する「住民票の写し（有料）」が必要になります。詳しくは選挙管理委員会へお問い合わせください。

なお、浪江町長選挙の場合は、投票する前に町外に転出された方は、投票できません。

## 郵便等による不在者投票

次の方は郵便等で不在者投票ができる制度があります。また、特定の方については代理記載をすることができます。

- この制度を利用する場合は、「郵便等投票証明書」が必要となりますので、選挙管理委員会へお問い合わせください。
- 身体障害者手帳または、戦傷病者手帳をお持ちの方で、障害の程度が所定の条件に該当する方
- 介護保険で要介護5と認定されている方

## 滞在地（避難先）での不在者投票

避難などで遠方へ行かれている方は、滞在地（避難先）で不在者投票をすることができます。

手続きが遅くなりますと投票できなくなりますので、早めに請求しましょう。

不在者投票ができる期間

11月11日(金)～19日(土)

## 請求・投票の流れ

### ①投票用紙等を請求する

請求は11月11日以前でもできますので早めに請求してください。

先にお送りしている「選挙のお知らせ」に同封されている「不在者投票請求書兼宣誓書」に必要事項を記入し、返信用封筒に入れて、郵送してください。（EメールやFAXでの請求はできません）

### ②投票用紙等を受け取る

郵送されてきた封筒（投票用紙、投票用封筒（内封筒と外封筒）不在者投票証明書）を受け取ってください。

不在者投票証明書が入った封筒は絶対に開封しないでください。

自宅等で投票用紙に記載しないでください。

### ③滞在地（避難先）の市区町村で投票する

滞在地（避難先）の市区町村選挙管理委員会に受け取った封筒を持参して投票してください。

受付時間、場所および土・日曜日の受付の有無は、投票する最寄りの選挙管理委員会にご確認ください。

## 投票所入場券をお持ちください

投票所入場券は、11月10日ごろまでに届くように発送する予定です。なお、投票所入場券を紛失した、投票所入場券がない（届かない）、投票所入場券を持たずに投票所に来られた場合でも、本人確認をした上で投票できますので、投票所の受付に申し出てください。

## 選挙公報の配布

選挙公報は、11月17日ごろまでに届くように発送する予定です。選挙

## 投票日当日の投票所および投票時間

投票所入場券を持参の上、次のいずれかの投票所にお越しください。

※受付時間は、投票所により異なりますので、ご注意ください。

投票所	場 所	時 間
第1投票所	二本松合同庁舎 1階会議室	午前7時～ 午後7時
第2投票所	福島市北信支所 1階ロビー	午前7時～ 午後6時
第3投票所	本宮市白沢公民館 第1研修室	午前7時～ 午後6時
第4投票所	桑折駅前仮設住宅 第3集会所	午前7時～ 午後6時

## 期日前投票制度をご利用ください

投票日に用事があって、投票できない方は、期日前投票ができます。

投票所入場券を持参の上、次のいずれかの期日前投票所にお越しください。

※期間・受付時間は、期日前投票所により異なりますので、ご注意ください。

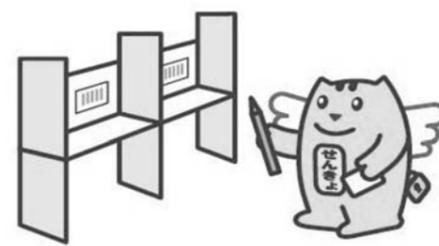
場 所	期 間	時 間
二本松合同庁舎 1階会議室	11月11日(金)～ 11月19日(土)	午前8時30分～ 午後8時
コラッセふくしま(福島市) 2階エントランス	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前9時～ 午後6時
福島市北信支所 1階ロビー	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前8時30分～ 午後6時
本宮市白沢公民館 第1研修室	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前8時30分～ 午後6時
桑折駅前仮設住宅 第3集会所	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前8時30分～ 午後6時
ビッグバレットふくしま(郡山市) 1階主催者室	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前8時30分～ 午後6時
いわき市文化センター 2階第3会議室	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前9時～ 午後6時
(旧)東北農政局福島農政事務所 南相馬統計・情報センター (南相馬市)1階会議室	11月17日(木)～ 11月19日(土)	午前8時30分～ 午後6時

## 開票は、午後8時からです

公報が届かない場合は、選挙管理委員会へお問い合わせください。  
なお、「県議会議員一般選挙（双葉郡選挙区）選挙公報」は、県選挙管理委員会ホームページに、「浪江町長選挙選挙公報」は町ホームページに掲載します。（掲載予定日：11月11日ごろ）

## 巡回バスを運行します

11月19日・20日、仮設住宅と期日前投票所・当日投票所を結ぶ巡回バスを運行します。  
詳しい時間・運行ルートは、広報なみえ11月号にあわせて送付している「投票所巡回バス運行表」、または町ホームページをご覧ください。  
なお、佐原地区・しのぶ台・森合町仮設コースは、19日と20日で行き先、時間が異なりますので、ご注意ください。





## みんなで つかんだ準優勝

10月15日、第5回福島県市町村対抗軟式野球大会決勝で浪江町代表チームが惜しくも福島市に敗れ、準優勝しました。

東日本大震災により、選手がばらばらに避難している中の準優勝に、多くの町民が勇気づけられました。

おめでとうございます。

## 恩返しを

猪苗代町に避難した官野市郎さん(権現堂)と畠山義輝さん(川添)に、地域の小中学校の通学路で街頭活動を行い、児童生徒の安全確保に尽力したとして、猪苗代町教育委員会から感謝状が贈られました。

お二人は、避難先の猪苗代町に恩返しができればと、5月から毎朝街頭活動を行っていました。



## 音楽に癒されて

10月8日、桑折駅前仮設住宅(桑折町)で浪江町激励コンサートが開催されました。

佐藤一安さん(立野出身)のご協力により、千葉県内で活躍の「メディア」「ギターアンサンブルハーモニー」やプロのギタリスト岩尾 宏さんが、「高原の駅よ さようなら」など数曲を演奏しました。

また、チャリティーの収益によるラジカセ6台が浪江小学校に寄贈されました。ありがとうございました。



## 合同慰霊祭

10月16日、東和文化センター(二本松市)で浪江町東日本大震災合同慰霊祭が開かれ遺族ら410名が出席し、犠牲者の冥福を祈りました。

町では、東日本大震災により184名が犠牲となり、未だ8名が行方不明となっています。

慰霊祭では、長沼利紗子さん(双葉高・3年)が遺族を代表し、別れのこぼを述べました。

がんばれ!



## いも煮会

10月16日、旧平石小学校仮設住宅(二本松市)で自治会主催によるいも煮会が開催されました。

仮設住宅の住民や地域の方が集まり、交流を深めました。



## ふれあい広場

10月1日、安達運動場仮設住宅(二本松市)に「あだち安全安心ふれあい広場」が開設されました。

二本松地区交通安全協会油井南部分会により、丸太のいす17基とベンチ2基が設置され、住民の皆さんの憩いの場となっています。



## サポートセンター開所



10月3日、杉内多目的運動場(二本松市)に一樹デイサービスセンターと本宮運動公園みんなの原っぱ(本宮市)にリハ・アクティブセンターT A I Y Oが再開しました。

また、24日に安達運動場(二本松市)にオンフル双葉デイサービスセンターが再開しています。

今後、桑折町に浪江町デイサービスセンターが再開予定です。

## ありがとうございました

株式会社DHC様から義援金1,456万3千円が届けられました。あたたかいご支援、ありがとうございました。

浪江町への  
義援金

10月12日現在、617件2億9,426万3,589円の義援金が寄せられています。このうち、1億6,690万円が各世帯へ配分されています。皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

## 消防団だより

浪江町消防団員の皆さん、お元気ですか。3月11日から7カ月が過ぎました。残念ながら消防団員4名が犠牲となり、未だ2名が確認されていません。早期に発見されることをお祈りします。

9月25日、今後の消防活動をどうするか幹部会を開催しました。また、同日午後、請戸の災害現場で手を合わせ冥福を祈りました。

今後とも厳しい状況が続くと思いますが、それぞれの家庭を守り、さらに消防の絆も大切をお願いします。

(平成24年1月、二本松市で浪江町消防団出初式を行う予定です。) 浪江町消防団長 紺野 榮重





茨城県

## 山田 洋子さん(権現堂)

取材者：茨城大学大学院 人文科学研究科 川又  
取材日：10月12日

### いつか家族がそろう日を目指して



洋子さんと夫・正昭さん  
孫・圭祐くん(左)と拓実くん(右)

震災発生時、家族全員はそれぞれ仕事や学校で離れ離れの中、度重なる余震におびえながら必至に耐えた。日が暮れてから家族は再会。あれからすでに7カ月。今でも家族は離れて暮らしている。

相馬市内で開かれた会合に出席中、激しい揺れに襲われた。幸い、けがは無かったが、携帯電話もつながらず、土木業を営む夫と次男、南相馬市内の会社に勤める次男の妻と連絡が取れなかった。  
「孫二人(次男の子)は大丈夫か？」  
それぞれ小学校と幼稚園に居るから大丈夫と思いつつ心配だけが心をよぎる中、自宅を目指した。普通ならば1時間程度の道のりだが、いたるところで道

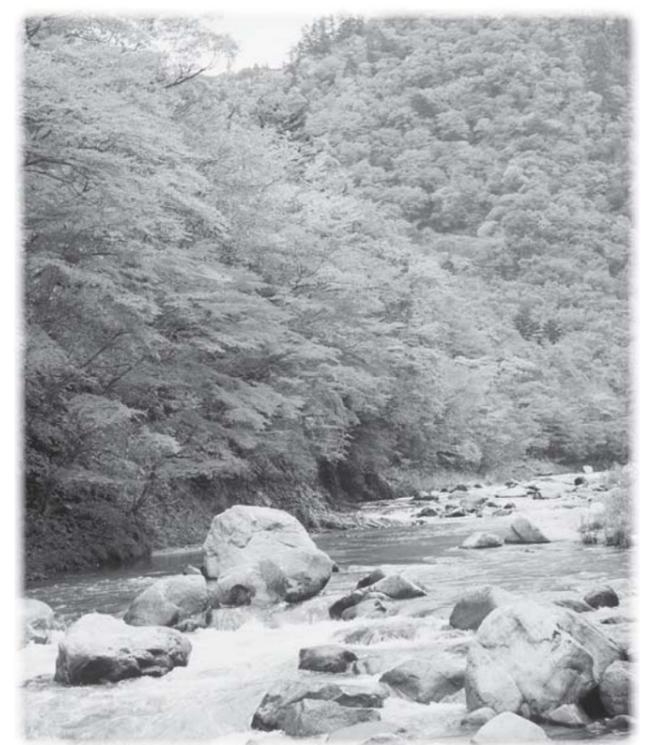
路が損壊し、断続的に渋滞していた。自宅に着いたのは夕方、日が暮れた後。家族全員が再会したのは夜遅くになってからだった。自宅内は家財が散乱していたが、一部屋を片付け、家族全員が身を寄せ合って一夜を過ごした。  
翌日、町内に嫁いだ娘から避難について知らされ、家族とともに南相馬市内を経て、赤宇木にある親戚宅に移動した。そして、15日未明、遠方へのさらなる移動を判断。親戚を含め合計10人、自動車4台に分乗して娘が住む茨城県結城市を目指した。  
幸い、姪の自宅には離れがあり、そこに約1カ月間身を寄せた後、4月下旬、現在生活している市内の雇用促進住宅に落ち着いた。その後、勤務先の事業再開のため次男夫婦が南相馬市内へと移った。私たち夫婦と孫2人の4人、次男夫婦2人、それぞれ離れ離れの生活が始まった。

震災前まで、夫の営む土木業の事務仕事をしていた私は、毎朝、現場に出かける夫と次男、勤務先に向かう次男の妻、学校

や幼稚園に向かう孫を送り出し、夕方また元気に帰宅するのを迎えるのが日課だった。日中、家事を済ませた後は、買い物から近所に住む友人と茶飲み話に花を咲かすもの楽しみだった。しかし、そうした当たり前が思っていないことが無くなってしまったからもう半年以上経過した。その間、一時帰宅で浪江に戻ることはあったが、地震で壊れたままの自宅の中は、風雨にさらされ続けているせいか、埃とカビだらけ。変わり果てた街と自宅に呆然とした。  
結婚以来、夫とともに二人三脚で歩んできた。次男が家業を継ぎ、孫も成長して、ようやくこれからと思っていた。家族6人、平和な日々だった。今は、仕事のために離れて暮らす次男夫婦に代わって孫2人の面倒をみる日々。今はその孫の元気な姿をみるだけだが、私と夫にとって心の支えになっている。  
そして、一日でも早く、家族が離れて暮らす日々が終わりを告げるときが来ると信じて、今、この時を生きていきたい。

# 浪江のこころ通信

第5号



平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信/第5号」への感想をお寄せください。  
【連絡先】〒976-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1 男女共生センター内 浪江町役場二本松事務所 「浪江のこころ通信」宛 FAX.0243-22-4261





## 矢野 正さん(牛渡)

取材者：(特活) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 風間・鍋嶋  
取材日：10月17日

### 人情豊かで、歴史深い浪江町に帰りたい

6カ所目の避難先になる、この区民住宅には長女夫婦と3人で4月末に越してきました。南相馬や石巻から避難してきた14世帯が入居、同郷の方々が近くにいてとても心強いです。家主さんからは、空き室を避難者同士がいつでも自由に使えるようにと、提供いただきました。

私は、震災当日は、一人で自宅にいました。一時的に高台にある親せき宅に避難、その後、指示のあった集会所に移動し、3日間そこで過ごしました。後で、わかったことですが、そこは一番放射線量の高い場所でした。国の情報が早く公開されていればと思います。

自宅は、地震で半壊。足の踏み場もないくらいで、屋根が壊れ雨漏りがひどく、大事にしていた漢文詩の自作品、自作小説、農業関係の論文などほとんど駄目になり、残念でたまりません。先日、一時帰宅をしましたが、行くたびに自宅の崩壊は進んでいて、今帰っても住めない状態です。そんな中、自作の漢詩を百編集めて編集した「磐嶺百絶」が奇跡的に雨に濡れずに一冊だけ残っていたのは、うれしいことでした。

品川の人情にふれ、心地よく暮らしていますが、やはり浪江が恋しくなることもあります。いつも近くにいた兄弟ともなかなか会えないし、浪江町は「となり組」の意識の高い土地柄で、助け合いながらの生活は当たり前です。野馬追いなど、歴史ある行事も多い浪江町に、帰れるものなら帰りたいですね。

区主催の秋のコンサートに無料招待いただくなど、品川区からは、各情報を丁寧に案内していただき、区の対応には、とても感謝しています。娘には、「都会にきて、行動的になつたね。」と言われます。歴史や古文書に興味があるので、品川の寺院などに積極的に出向いていますから。弓道場にも道を尋ねながら行きましたが、皆さん丁寧に教えてくれます。この住宅は、来年7月までの条件で提供いただいているので、その後はどうなるのか不安もあります。

品川の人情にふれ、心地よく暮らしていますが、やはり浪江が恋しくなることもあります。いつも近くにいた兄弟ともなかなか会えないし、浪江町は「となり組」の意識の高い土地柄で、助け合いながらの生活は当たり前です。野馬追いなど、歴史ある行事も多い浪江町に、帰れるものなら帰りたいですね。



年齢より若く見える矢野正さん(79歳)と長女の千鶴子さん

**矢野正さんからのメッセージ**  
4月末、品川区はじめ、関係機関団体の厚意により、区借上げ住宅にて生活しています。ここ、品川は江戸時代の名残りと美風を今に伝え、人情厚き良い街で、多くの方々の御懇情に支えられ、予想だにできなかったここでの暮らし、人々との交流は終生忘れ得ません。



## 鈴木 荘司さん・みよ子さん(幾世橋)

取材者：地域社会デザイン・ラボ 遠藤  
取材日：10月16日

### 今一番の楽しみは、浪江の知人・友人と話をすること

震災後、仙台そして秋田に避難し、その後4月中旬から仙台市太白区の集合住宅に在住。荘司さん、みよ子さん、息子さんの3人で暮らす。近くには娘さんや甥さんが在住され、行き来して助け合いながら暮らしている。ご自宅は幾世橋芋頭。



避難先の集合住宅のリビングにて

浪江で暮らしているときは、商店を営んでいました。思い出すのは、店に買い物に来てくださった方たちの顔。振り返ると感謝の気持ちでいっぱいです。故郷を離れてみて感じたのは、浪江は気候が穏やかで海・山・川があり季節ごとに楽

しい町だったなということ。悪い所は一つもありませんね。

今住んでいる集合住宅は、静かで緑も見え、そして、病院やスーパーも近くにあり、暮らすという点では申し分ありません。ですが、家にこもってばかりではダメになると思い、仙台を知るために自転車で出かけたり、近所のお店の手伝いやボランティア活動などを行っています。こんな生活の中で楽しいと思えるのは、浪江で一緒だった友人・知人と会い話をすること。先日は、仙台駅近くで浪江町出身の方が店をオープンされたので訪問しました。

今の思いは、「浪江町をルーツに持つ人たちのご恩に報いるためにも必ず帰りたい!」ですが、元の商売を再開できるかが悩みです。今はそのときに備え、自分は何ができるかを考えプランを練り、行政の力も借りながら頑張りたいです。復興には個々の力が大切だと思っています。



## 木村 敏さん(幾世橋)

取材者：(特活) 新潟NPO協会 富澤  
取材日：9月10日

### これからもふるさとを思いながら、暮らしていきたい

町で3代続く、はんこ屋だった木村さん。一家7人で新潟市に避難し、今は2世帯にわかれて生活している。

私たちは、浪江町に住む両親と叔母の7人で、3月15日に新潟に避難してきました。新潟市出身の妻の実家に避難した後、新潟市の公営住宅に引っ越しました。その後、7人では、狭かったため両親と叔母、私たち夫婦と子ども2人の2世帯にわかれて、民間の借り上げ住宅に引っ越しました。わかれたとはいえ、両親と叔母は隣のアパートにいますので、子どもたちも毎日行き来しています。

子どもたちは友だちもでき、私も仕事が決まり、新しい生活をスタートさせていますが、時々寂しさを感じることもあります。そんなこともあり、離れ離れになってしまった仲間と電話やメールなどで互いの暮らしぶりや浪江町の情報などをやりとりしています。

両親は、先日浪江町から配布されたフォトビジョン(電子回覧板)を活用し、情報を受け取っています。県外にいる者にとって、情報が届かなくなることは不安なので、こうした広報紙や電子回覧などのしくみはありがたいです。これからもふるさとを思いながら暮らしていきたいですし、心の支えにつながるので、今後も続けてほしいです。



左から敏さん、陽菜ちゃん、真樹子さん、天馬くん



群馬県

## 遠藤 明美さん(権現堂)

取材者：高崎経済大学 櫻井研究室 櫻井  
取材日：10月15日

### 震災が招いた現実を受け止めて、 前向きに生きていく



恭介君(5歳)と明美さん

数日前に、浪江の自宅に初めて一時帰宅することができました。雑草などで荒れ果てた街並みにショックを受けました。避難後はいつもテレビの中に見ていた浪江の風景が、実際に目の前に現れ、あらためてこの震災が現実なのだ実感しました。そして、この現実を受け止めなければならぬ。むしろしっかりと受け止めて前向きに生きていかなければならないと思っています。

私は、浪江町児童館での仕事で、子どもたちの帰宅時間のため「さようなら」をしているときに大きな揺れに遭いました。先生方と不安になる子どもたちから声をかけ、揺れがおさまってから子どもたちを車に乗せて高台に避難しました。震災後、離ればなれになってしまった長男の恭介とは5日後ようやく会うことができました。泣きながら抱きあったことを思い出します。津島、会津、郡山、そして茨城にある夫の実家などを転々として、いまの群馬県大泉町の公営住宅に4月上旬から住んでいます。同じ建物の中に、福島県から避難されてきたご家族も何軒かあり、浪江の方とも親しくさせていただいています。震災後まもなくは、津波の夢を見たりして眠れないことがあり、精神的に不安定な日が続きました。保育所に通う恭介もなかなか新しい雰囲気慣れず苦しみました。

11月は浪江の十日市です。こ

私は、浪江町児童館での仕事で、子どもたちの帰宅時間のため「さようなら」をしているときに大きな揺れに遭いました。先生方と不安になる子どもたちから声をかけ、揺れがおさまってから子どもたちを車に乗せて高台に避難しました。震災後、離ればなれになってしまった長男の恭介とは5日後ようやく会うことができました。泣きながら抱きあったことを思い出します。津島、会津、郡山、そして茨城にある夫の実家などを転々として、いまの群馬県大泉町の公営住宅に4月上旬から住んでいます。同じ建物の中に、福島県から避難されてきたご家族も何軒かあり、浪江の方とも親しくさせていただいています。震災後まもなくは、津波の夢を見たりして眠れないことがあり、精神的に不安定な日が続きました。保育所に通う恭介もなかなか新しい雰囲気慣れず苦しみました。

最初のころは、すぐにでも浪江町に帰りたいと思っていましたが、時間の経過とともに子どもの安全のことを思うとそれも言えないと考えてしまいました。ただ、以前は毎日のように孫の恭介と会っていた私の両親とも離れたままで、何よりも私は生れてからずっと浪江町で生活してきました。いつか必ず皆さんと浪江町で再会できる日が来ると信じて、その日まで頑張っていきたいと思っています。



埼玉県

## 小泉 舞華さん(中2)(川添)

取材者：高崎経済大学 櫻井研究室 櫻井・竹内  
取材日：10月8日

### いつも「浪江のこころ通信」を 楽しみにしています

いま住んでいる埼玉県行田市のアパートは、浪江町を離れてから5カ所目の住まいです。4月から通っている中学校では友だちもたくさんできて、浪江のときと同じソフトテニス部に所属しています。こちらの中学校は、1学年に5クラスもあって浪江東中の2倍以上の生徒数、弟の拓己が通う小学校は請戸小の6倍の生徒数です。毎日楽しい学校生活ですが、なんとなく浪江の中学校のときと雰囲気の違いが。休みの日は、友だちと自転車で隣の熊谷市に買い物などに行きますが、ゆっくりに友だちとおしゃべりしていた浪江のときの過ごし方とはちょっと違います。うまく言えませんが、浪江とは時間の流れが違う感じがします。

チームに所属してました。それから、なみえ焼そばを歌や踊りで応援する「NYTS」の活動にも所属していました。しばらく活動はしていませんでしたが、9月の末に磐梯熱海で開催された「うつくしまよさこい」で久しぶりに仲間と一緒によさこいを踊りました。本当に楽しかったです。そう言えば、いつもなら浪江ではもうすぐ十日市です。おいしいなみえ焼そばも食べたいです。

ばこのまま埼玉で生活することになるのかなあと思ったりします。私は早く浪江町に帰って、以前の生活がしたいです。いつかみんなに会えるまで、勉強もスポーツも頑張ります。7月末から23日間、ニューヨークにホームステイに行きました。初めての経験でしたが、たぐさんの出迎えがありました。マイペースで元気に頑張っています。



弟の拓己君(左)と舞華さん



福島県

## 紺野 堅吉さん(南津島)

取材者：(特活) ビーンズふくしま 豊田  
取材日：10月6日

### 郡山市熱海から皆さんへ

現在、福島県の郡山市熱海町で借り上げ住宅に暮らしている紺野さん。父と妻、娘の4人で暮らしています。故郷をはなれて、環境に馴染むのに時間がかかりましたが落ち着き始めた様子です。浪江への思いが強いことが感じられました。

地元の毎年ある伝統の祭り、自宅近くでよく聞いていたパークゴルフ場など、思い出深い景色が鮮明に浮かんできます。なにより、一番は浪江の方々の姿が忘れられません。ともに仕事をしてきた仲間、近隣の方々、

懐かしく思う風景  
震災の後、私たち家族9人は3月13日に郡山市大槻町に避難しました。その後、娘夫婦と孫は茨城県つくば市へと移りました。私と妻、父、娘の4人は3月20日に、ここ熱海町の借り上げ住宅へと越してきて仕事に着きました。熱海町は温泉地として有名で、時折利用して心と体を癒しています。  
この生活にも当初より慣れてきました。やはり津島の風景が懐かしく思い、心寂しく思うときはあります。  
先日の帰宅で、震災の後を見てもきたが、復興に時間がかかることを実感しました。私の自宅も住むことが難しい状況を知りました。帰宅したことで、故郷にとっても愛着があることをあらためて実感した機会でもありました。

またお会いできる日を  
緑豊かな故郷に帰れる日を待ち望んでいます。町に帰れる日が来たら、落ち着いて生活したいです。行きつけだった居酒屋で友人たちと飲みたいです。いつかまた会える日があると思いますので、気を落とさないでほしいと願っています。



またお会いできるのを楽しみに



福島県

## 原田 徳郎さん(立野)

取材者：(特活) ビーンズふくしま 中鉢  
取材日：10月16日

### つながりを取り戻して、浪江に帰ることのできる見通しが持たたい

原田さんは、定年退職後に家業の梨づくりを継いで5年になり、まさにこれからというときの震災・原発事故だったそうです。3月12日に避難の指示があり、家族で福島市の福島高校の避難所へ避難。その後土湯温泉の2次避難所へ移り、5月末から家族5人で福島市町庭坂の借上住宅で生活しています。



左から 徳郎さん、妻の知恵子さん、母の喜代さん、父の繁雄さん

地震のときは梨畑で仕事をしていたときでした。ひどい揺れで梨の木にしがみついていた。2回目の揺れも来て、これはひどいと感じました。家に戻ったら、中はガチャガチャになっていて、おさまってから片づけをしました。電話も通じず、夜はろうそくの生活で、双葉町の作業所に勤めていた家内も一晩帰ってこれませんでした。3月12日、家内が作業所のメンバー2人を連れて戻ってきたので、その家族の消息を探して富岡・川内とまわりましたが、見つか

らず12日の夜には再び家に戻ってきました。夜、防災無線で20km圏内避難の指示が出たので、父・母・私・家内・息子の5人と作業所のメンバー2人と犬を連れて、車2台で着の身着のまま避難しました。津島、川俣と避難して行きましたが、どこもいっぱいで、夜中の1時半すぎに福島高校の避難所にとどろききました。街中の避難所だったので医療的な面などではよかったです。避難者同士お互いの顔が見えたのは心強かったです。ただ、まだ寒い時期での体育館の生活はこたえました。4月7日まで避難所で生活し、次に2次避難で土湯温泉の旅館に移りました。少しは落ち着いたものの、家族5人で1部屋の狭さです。旅館にいた間に家探しをしましたが、家を決めてから入居までには手続きなどもあって1カ月かかりました。土湯温泉には5月27日までいたのですが、借上げ住宅に移ったのは早い方だと思います。

生活はなるようにしかならなけれど、家ならできるといってもなかなか自分の思うようにならないと感じます。横のつながりが切れてしまったので、どういう形で取り戻していったらいいのか。鉄道や道路も南北に分断されている状況なので地域的には相当なダメージです。  
今は、いつ帰れるのか誰もわからない状態です。役場も皆も大変だとは思いますが、情報や見通しがほしいです。

借上げ住宅なので、まったく近所に知り合いがいない状態でした。携帯電話で連絡先がわかっている知り合いのところや親戚のところには行ってみたりして

います。同じ地区の方でもバラバラになっていきます。友だちや同級生の消息、お互いの様子も知りたいです。  
家や畑が警戒区域になってしまった後、2回の一時帰宅がありました。畑はすっかり草に覆われて、動物が寝そべった跡があったり、人が住まない状態になるとこんなに荒れてしまうものかと思いました。  
家の中のものには倒れたり、壊れたりしたものがありませんが、建物や屋根は無事でした。ただ、電気や水道も通じていないし、警戒区域で許可なく入ると罰せられる。すぐに帰れないというのが残念です。



## 木幡 風音さん(苧宿)

取材者：(特活) ビーンズふくしま 豊田  
取材日：10月11日

### いちょうの木がまた見たい

寒さに凍える中、スパイクを持って避難した風音さん。地震の翌日は、とても楽しみに待ち望んでいたステージで走れることを願って、スパイクを持っていました。今もなお陸上を続け、大会にむけて日々努力しています。

地震があつて避難したのは12日の夜でした。父と母と私は、原町の馬事公苑へ車で行き、14日まで居ました。15日の早朝に、自宅にガソリンを取りに行つてから、新潟経由で石川県の実家へと行き、5月の連休明けに郡山市へと来ました。新潟のパークキングエリアで初めて温かい食事をしたことが、心に残っています。

今は、郡山市の貸家で父と母と3人で暮らしています。ここから郡山北高校に通っています。郡山北高校の中に、サテライト高として小高工業高校内にクラスがあります。学校では、少しずつクラスメイトが転校していきませんが、たくさんの友だちができました。親身な先生がいまですので安心していきます。

学校だけでなくいろんな人と知り合えて、友だちになれることが楽しく感じています。そしてなにより、陸上を続けられることがとてもうれしいです。

陸上にずっと打ち込んで、小高工業高校に入ってから大好きな先輩とリレーをすることが夢のひとつでした。その夢は叶

いませんでしたが、次の新しい夢をもって部活に励んでいます。

石川県の実家にいたときに、両親から石川の星稜高校へ入ることを勧められました。「福島に帰りたい。」との気持ちが強く、こちらに来るようになりました。やっぱり、福島にいたいと思えます。

浪江町の風景、自分の家が懐かしく思います。一番好きなのは、自分の部屋から見える大きないちょうの木です。この季節は紅葉してとてもきれいで、見ているだけで癒されます。

毎年、元旦は初日の出を見に請戸海岸まで行って行きました。早朝に1時間かけて行って、体がかじかむほど寒かったですが、その景色を友だちと一緒に見ることがとても好きでした。

学校の近くの「いどがわ商店」も思い出深いです。よく帰りに、友だちと一緒に立ち寄っていました。

思い出す度に「町に帰りたい」と感じます。

今は、地元に戻れなくてつらいですけど、いつか帰れる日に向けてがんばりましょう。



ふるさとを思い出すたびに帰りたいと思います



## 天野 慶子さん(権現堂)

取材者：(特活) 市民公益活動パートナーズ 佐藤  
取材日：10月7日

### 「そろそろ、『こうだったら』という思いを、言葉にしてもいいかな?」と思っています

浪江町権現堂に住んでいました。今は、福島市笹谷の笹谷東部仮設住宅に落ち着きました。仮設住宅に入居とともに、浪江町同様に福島市内の郵便局で働きはじめました。浪江町では、浪江のこころ通信第3号に登場した婦人消防隊長木幡豊子さんの元で、副隊長をしていました。



すてきな笑顔って、結構難しいかな? (いえいえ、すてきです!取材者)

3月11日は、浪江郵便局で勤務中でした。すぐにお客さまの安全避難誘導に務め、最後のお客さまをお見送りした後、主人と小野田に住む実母と連絡を取り合い、高台へ向かいました。高瀬球場、浪江中学校、そして再び小野田へ。

12日早朝、「津島へ避難を」の防災無線の呼びかけに、浪江高校津島分校へ向かいました。いつもだったらそんなに時間がかからずに着けるようなのに、車がまったく動かず、着いたときはもう10時をまわっていました。

やつこの思いで着いた津島分校は、大きな揺れで校内はメチャクチャな上、原発が深刻な事態に尋常でない数の人が押し寄せ、非情な様相になっていました。大勢の人々の中に法被を着た消防団員の姿を目にし、私は婦人消防隊副隊長をしていましたので、車の中に常に法被を入れていたことを思い出し、すぐに法被を着て消防団員の方々と教頭先生はじめ先生方と、寒さのなか消防車をフル稼働させ、食糧の調達・配給・簡易お手洗いの設置などに走り回りました。忘れもしません、そうやって走り回った最初の食糧配給は、8枚切の食パンが一人一枚でした。

13日には、人々の数は600、700人に加え、最大では1,000人の人々が、教室や廊下にあふれました。思いもよらないことが次々と持ち上がり、校中のポットやストープをかき集めるなど、赤ちゃんや高齢者の方、お体の不自由な方への対応、と皆さんと知恵を出し合い、婦人消防隊員としてもう無我夢中でした。その後、寒さの避難生活に高齢の母の体調が気にかか

り、妹の住む福島市へ避難しました。

今、一番会いたいと思うのは、そんな非常時に会った人々です。わが身を忘れ、目の前で次々起こる事態の收拾に、一緒に力を尽くした言わばチーム津島分校ボランティア仲間たちです。

8月に、福島市の北幹線第一仮設住宅(福島北警察署北側)で開かれた盆踊り大会で、たくさんの浪江町の人に会うことができ、なみえ焼そばを口にできたのは、久しぶりに感じた安らぎでした。11月のあのにぎやかな十日市のお祭りも、盆踊り大会のようにこちらで開くなど、浪江町の人々が定期的に集える機会ができたらしです。

初めての福島、初めての仮設住宅ですが、少しずつ慣れてきました。救命救急普及員としての活動ははじめ、何かお役に立てることをこの仮設住宅から再開できたらと思います。そろそろ今の私たちだからこそ言える思いを、言葉に出してもいいかな?と思っています。

# 空間放射線量測定結果

町が独自に実施した空間放射線量測定結果をお知らせします。

☎ 災害救援班（放射線管理） TEL 0243-62-0123

（測定地：地上高 H=1.0m 単位：μSv/h）

## 浪江町内小中学校等

測定地	測定値 (9月30日)	測定値 (10月7日)	測定値 (10月21日)
役場津島支所	7.94	8.05	7.96
津島小学校	8.86	9.20	7.98
津島中学校	10.6	11.2	10.90
浪江高等学校津島校	16.5	16.8	15.40
苅野小学校	9.48	8.66	8.34
川添字中上ノ原地内	7.39	7.34	7.25
大堀小学校	7.28	7.32	6.93
浪江中学校	9.60	10.00	9.75
ふれあいセンターなみえ	10.2	9.54	9.45
浪江小学校	1.41	1.36	1.34
浪江高等学校	4.48	4.20	3.87
藤橋字亀下地内	1.89	1.74	1.66
浪江町役場	0.70	0.67	0.64
北幾世橋字北中谷地地内	0.69	0.66	0.68
幾世橋小学校	0.57	0.52	0.48
請戸小学校	0.30	0.30	0.28
浪江東中学校	0.59	0.58	0.55

## 仮設住宅等（二本松市）

測定地	測定値 (10月3日)	測定値 (10月11日)	測定値 (10月17日)
郭内公園仮設住宅	0.48	0.49	0.43
塩沢農村広場仮設住宅	0.25	0.18	0.16
安達運動場仮設住宅（Aブロック）	0.55	0.33	0.57
安達運動場仮設住宅（Bブロック）	0.41	0.59	0.35
浪江小学校（旧下川崎小）	0.55	0.53	0.53
浪江中学校（旧針道小）	0.51	0.46	0.47
建設技術学院跡仮設住宅	0.25	0.32	0.25
太平農村広場仮設住宅	0.34	0.40	0.36
杉内多目的運動広場仮設住宅（中央西）	0.24	0.22	0.21
杉内多目的運動広場仮設住宅（中央東）	0.28	0.27	0.25
旧平石小学校仮設住宅	0.27	0.28	0.29
杉田農村広場仮設住宅	0.67	0.66	0.63
杉田住民センター仮設住宅	0.32	0.30	0.28
永田農村広場仮設住宅	0.14	0.12	0.11
岳下住民センター仮設住宅	0.42	0.45	0.41

## 仮設住宅（桑折町、福島市）

測定地	測定値 (10月6日)	測定値 (10月13日)	測定値 (10月20日)
桑折駅前仮設住宅（第一集会所）	0.15	0.16	0.16
桑折駅前仮設住宅（第二集会所）	0.15	0.15	0.16
宮代地区仮設住宅（西側）	0.30	0.34	0.31
宮代地区仮設住宅（集会所）	0.39	0.29	0.31
北幹線第一仮設住宅（北集会所）	0.16	0.12	0.10
北幹線第一仮設住宅（南集会所）	0.15	0.16	0.14
笹谷東部仮設住宅（東集会所）	0.19	0.18	0.21
笹谷東部仮設住宅（西集会所）	0.22	0.26	0.27
南矢野目仮設住宅（北ブロック集会所）	0.16	0.15	0.14
南矢野目仮設住宅（南ブロック集会所）	0.12	0.27	0.13
森合仮設住宅	0.34	0.38	0.36
しのぶ台仮設住宅	0.10	0.10	0.13
佐原地区仮設住宅	0.08	0.09	0.15

## 連絡先一覧

■ 浪江町役場二本松事務所  
〒964-0904  
福島県二本松市郭内一丁目196-1  
（福島県男女共生センター内）  
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261

■ 浪江町役場二本松第二事務所  
〒964-0904  
福島県二本松市郭内一丁目81  
FAX 0243-23-7970

● 浪江町教育委員会  
TEL 0243-62-0301

● 二本松避難者生活支援班  
TEL 0243-62-0302

■ 福島出張所  
〒960-8601  
福島県福島市五老内町3番1号  
（福島市役所9階西側）  
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753

■ 本宮出張所  
〒969-1203  
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22  
（本宮市役所白沢総合支所1階）  
TEL 0243-44-1185・1186  
FAX 0243-44-1187

■ 桑折出張所  
〒969-1611  
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地  
（桑折町役場2階）  
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135

■ いわき出張所  
〒970-8026  
いわき市平字堂根町1番地の4  
（いわき市文化センター2階第4会議室）  
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026

■ 浪江町議会事務局  
〒964-0917  
福島県二本松市本町一丁目60番地の2  
（安達地方広域行政組合自治センター3階）  
TEL 0243-22-9531 FAX 0243-22-9532

■ 浪江町社会福祉協議会  
〒964-0904  
福島県二本松市郭内一丁目81  
（浪江町役場二本松第二事務所内）  
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970

## 仮設住宅（本宮市）

測定地	測定値 (10月4日)	測定値 (10月11日)	測定値 (10月18日)
恵向公園仮設住宅	0.27	0.26	0.27
高木運動公園仮設住宅	0.32	0.35	0.34
小田部旧総合支所仮設住宅	0.26	0.23	0.25
石神第一グリーンパーク仮設住宅	0.43	0.45	0.41
石神第二グリーンパーク仮設住宅	0.39	0.35	0.37
栗木平老人福祉センター仮設住宅	0.25	0.25	0.23
和石上カルチャーセンター仮設住宅	0.53	0.6	0.45



平成23年11月 No.550  
毎月1回1日発行

発行・編集 福島県浪江町役場総務課  
福島県二本松市郭内一丁目196-1男女共生センター内  
TEL 0243-62-0123(内) FAX 0243-22-4261  
http://www.town.namie.fukushima.jp



ホームページやフェイスブックは、  
携帯からもご覧いただけます。  
QRコードをご利用ください。

